

多発血管炎性肉芽腫症の分類基準

分類基準を使用する前に以下を考慮する。

- 小・中型血管炎と診断された患者を多発血管炎性肉芽腫症に分類するために、本分類基準を適用すべきである。
- 本分類基準を適用する前に、血管炎類似疾患の除外をすべきである。

臨床基準

鼻の病変: 血性鼻漏, 潰瘍, 痂皮形成, うっ血, 鼻閉, 中隔欠損/穿孔	+3
軟骨病変(耳や鼻の軟骨の炎症, 嚔声や吸気性喘鳴, 気管支内病変, 鞍鼻)	+2
伝音性難聴または感音性難聴	+1

検査基準(血液, 画像, 生検)

細胞質型抗好中球細胞質抗体(c-ANCA)または抗プロテイナーゼ3(抗PR3)抗体陽性	+5
胸部画像検査で肺結節, 腫瘤, または空洞形成	+2
生検で肉芽腫, 血管外肉芽腫性炎症, 巨細胞	+2
画像検査で, 鼻・副鼻腔の炎症, コンソリデーション, 液体貯留, または乳様突起炎	+1
生検でPauci-immune型糸球体腎炎	+1
核周囲型抗好中球細胞質抗体(p-ANCA)または抗ミエロペルオキシダーゼ(抗MPO)抗体の陽性	-1
血中好酸球数 $\geq 1000/\mu\text{L}$	-4

10項目の中から該当項目のスコアを合計し, 5点以上であれば多発血管炎性肉芽腫症に分類する。